

【施策評価調査】

施策名	1-2-1	幹線道路の整備		73	主要幹線道路(国・県道)を補完する道路ネットワークを形成すること、 道路整備の必要性、効果についてわかり易い情報開示を行い、住民との対話と情報化を実現すること、 住民参加による道路整備・維持・管理技法を確立すること。 土地区画整理事業と連携して道路整備を進め、生活環境を向上すること。 ですが、そのうちの施策については、の円滑な移動に向けた道路網の形成と道路の修繕を迅速かつ効果的にを行うことを目的とします。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	都市整備担当		より円滑な道路網の形成に向けて、国道・県道を補完する町幹線道路24路線のうち15路線を道路評価システムに基づき整備を行います。平成22年度までに新設改良道路は8路線中4路線を、舗装修繕路線は8路線中6路線の整備完了を目指します。また、芳賀高根沢工業団地関連渋滞対策をはじめとする3路線の新設改良と、交通量が多く道路の備みが激しい2路線の舗装修繕にも着手します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化		リーダー	阿久津 靖		

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 幹線道路整備進捗率(%)	平成16年度までの整備進捗率(町幹線道路24路線中8路線が完成 8/24路線) 33.3%	計画	37.5%	41.6%	50.0%	62.5%	50.0%
		実績	37.50%	37.50%	41.67%		
指標 : 満足度調査		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	135,617,000	143,750,000	91,000,000	30,000,000	53,000,000
決算	142,989,679	77,740,060	72,190,000			

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)			
都市計画道路宝積寺南通り道路改築事業	H21 現計 0	境界同意取り付け	歩道を設置することにより、歩行者、自転車の安全が確保されるとともに、主要幹線道路である国道4号線を補完する道路ネットワークを形成することができる。	<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td>条件付継続</td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	今後の方向性(総合評価)				条件付継続	
H22 計画 6,000,000						
町道328号線舗装修繕事業	H21 現計 0	実施延長	損傷が激しい路面を修繕することで、騒音・振動を抑制し、走行機能の向上が期待でき、利便性の高い道路網の形成につながる。	<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td>廃止</td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	廃止
	今後の方向性(総合評価)				廃止	
H22 計画 47,000,000						
町道525号線道路改良事業	H21 現計 0		さくら市及び芳賀町とのアクセスが向上し、広域的な生活圏の形成に寄与できる。	<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td>条件付継続</td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	今後の方向性(総合評価)				条件付継続	
H22 計画 0						
	H21 現計			<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	
	今後の方向性(総合評価)					
H22 計画						
	H21 現計			<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	
	今後の方向性(総合評価)					
H22 計画						
	H21 現計			<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性(総合評価)</td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性(総合評価)	
	今後の方向性(総合評価)					
H22 計画						

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	主要幹線道路である国・県道を補完するため、集落相互を連絡する生活関連道路の骨格をなす道路を整備し、利便性の高い道路網の形成を目指す。	傘下3事業は単年度での整備が困難な路線であり、手間、暇かけて事業に取り組み。
規模縮小			
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価するが、整備前の状況を踏まえつつ、路線の整備効果としてなぜ必要とされる路線なのか示せるよう、整備前はもちろんだが整備後の検証・評価も行っていくこと。それに合わせた成果指標を見直すこと。 また、道路評価の評価軸については、意識調査の結果を踏まえ他課で行う地域経営計画の施策とつながりのある視点をもった見直しを行っていくとともに、後期計画に向け、財政状況を勘案した施策展開、整備方針をよく検討すること。 なお、「町道328号線舗装修繕事業」については、適正な維持管理は行っていくこととし、H22年度予算計上は見送る。		